

無溶剤エポキシ 二液 特化則 特化則非該当 無鉛 ホルムアルデヒド 放散等級 F☆☆☆☆ 速乾性

クイックアンダー®

コンクリート面 速乾性 凹凸補修

フロアトップシリーズの速乾性エポキシ樹脂系アンダー材、クイックアンダー。気温23℃で3時間後には上塗り可能という速乾性に加え、仕上がりが緻密なため、薄膜タイプを上塗りしても美しく仕上がります。

速乾エポキシ 凹凸修正材

特長

- 速乾性**
当日に上塗りが可能なため、次の工程にスムーズに進むことができます。
- 凹凸補修に最適**
部分補修から全面補修まで、1回で1~10mmまでの凹凸補修が可能です。
- 仕上がりが滑らか**
微粒子軽量骨材を使用しているため補修面が滑らかに仕上がり、上塗りがより良い仕上がりになります。
- 作業性が良い**
金ごて・ゴムべら・金べら等、現場状況に応じた方法で塗装できます。

用途

不陸・凹凸の激しいコンクリートの不陸修正、欠損部の補修
工期のない現場での下塗り材



施工例

荷姿・塗り面積・安全性・色

[荷姿] クイックアンダー
9kgセット：主剤 6kg / 石油缶、
硬化剤（夏型・冬型） 3kg / 4L 角缶
クイックアンダー骨材
4.5kg / 紙袋
（骨材は別売りです）

[塗り面積]

標準仕様	4.5~13.5 m ²
------	-------------------------

下地の状況により塗り面積は増減します。

(一社) 日本塗料工業会登録		消防法：
登録番号	A03016	主 剤 / 第四類第三石油類・ 危険等級Ⅲ・火気厳禁
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆	硬化剤 / 第四類第三石油類・ 危険等級Ⅲ・火気厳禁
		骨 材 / 非危険物

[安全性]

製品名	文部科学省 学校環境衛生の基準 指定 6 物質	厚生労働省指針 環境 13 物質
クイックアンダー	非配合	非配合

[色]

※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。



クイックアンダー®

施工仕様例

①標準仕様：上塗りフロアトップ各種

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	標準仕様 
下塗り①	#800プライマー	—	—	0.20	2~6	
下塗り②	クイックアンダー	—	—	1.00~3.00	3~24	
上塗り	フロアトップ各種	—	—	—	—	

②推奨仕様：上塗りフロアトップ#8000 2mm厚

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	推奨仕様 
下塗り①	#800プライマー	—	—	0.20	2~6	
下塗り②	クイックアンダー	—	—	1.20	3~24	
上塗り	フロアトップ#8000	—	—	1.00	—	

※「学校環境衛生の基準」「厚生労働省指針」等の対応が必要な場合の仕様については当社までお問い合わせください。
注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

硬化時間・骨材配合量&上塗り性

硬化時間・骨材配合量

気温		5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
骨材配合量	1mm	3.5kg	3.5kg	4.0kg	4.0kg	4.0kg	4.0kg
	2mm以上	4.5kg	4.5kg	4.5kg	4.5kg	4.5kg	4.5kg
可使時間	夏型	使用不可	使用不可	20分	20分	20分	15分
	冬型	15分	15分	15分	15分	10分	使用不可
上塗り可能時間	夏型	使用不可	使用不可	5時間	3時間	3時間	2時間
	冬型	8時間	5時間	3時間	3時間	3時間	使用不可

※作業性を維持するため、気温・塗布量により骨材の配合量が異なります。
※配合量は、クイックアンダー1セット(主剤6kg・硬化剤3kg)に対してのものです。

上塗り性

条件	上塗り可能製品
当日~翌日 直接上塗り可能*	フロアトップ #1400、#5000、#5400、#8000、 #8500、エポワン、水性アトムエポクリン、 アクアクリンU、フロアトップアクア W#5000、フロアトップアクアエポ21
#800プライマー 使用により上塗り可能	フロアトップ #7000、#8500 速乾、 #7000+マークレス ミックス
#500油面プライマー 使用により上塗り可能	フロアトップU-#90、U-100NEO

※ クイックアンダー 塗装後1日以上経過した場合は#800プライマーが必要です。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 主剤と硬化剤の計量、混合搅拌は、はかりおよび電動搅拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に搅拌し、均一にした後はかりを用いて計量、混合してください。
- 主剤と硬化剤を混合したまま放置すると硬化が進行し発熱します。その際容器に触ると火傷をする恐れがありますから、混合した塗料は出来るだけ早く施工面に流しのべてください。やむを得ず使い残した場合には、容器内に水を10cm位入れて、フタをしないうで固めてください。
- 骨材混合の際には粉じん等を吸い込まない様手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等を着用してください。
- 容器からこぼれた骨材は、ほこりをたてないようにほうき、スコップ等で掃き集めてください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- 金ごての等の洗浄には合成シンナー No.6をご使用ください。
- 他の塗料との混合はできません。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間 歩行開放=3時間以上 重量物開放=24時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1m以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に取除いてください。
- コンクリート面をドライバール等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- 風化したコンクリート、および雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートの場合は、脆弱層を除去してから#800プライマーを2~3回塗りしてください。
- 湿潤面、油面へ塗装する場合は、当社まで下地処理方法をご相談ください。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■ 本社	〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL (03)3969-3111	FAX (03)3968-7300
■ 加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1154	FAX (0480)65-6909
■ 大阪支店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL (072)872-3111	FAX (072)872-1222
■ 仙台営業所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL (022)249-7371	FAX (022)249-7372
■ 新潟営業所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL (025)244-8011	FAX (025)244-8012
■ 横浜営業所	〒224-0033 横浜市中区築区茅ヶ崎東3-17-43	TEL (045)943-8911	FAX (045)943-8912
■ 名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市中区北区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL (052)914-3900	FAX (052)916-0892
■ 広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL (082)845-2202	FAX (082)845-2203
■ 福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL (092)503-5200	FAX (092)503-5308
■ 加須工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1159	FAX (0480)65-7146